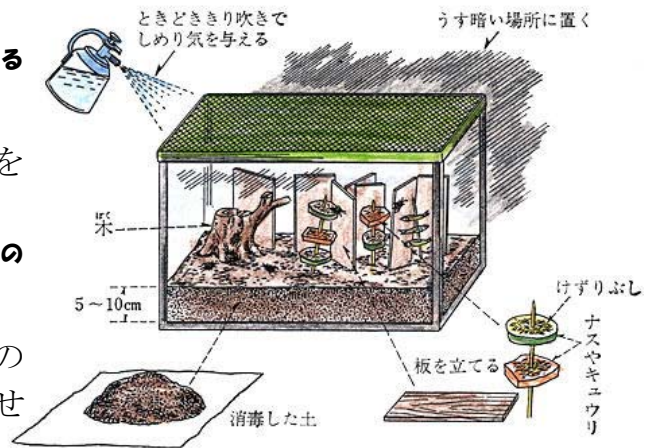


# コオロギのそだてかた

## いれもの

- ◎ コオロギは暗い場所にいますので、且かげにいれものをおきます。
- ◎ いれものは、プラスチックのものを用意します。  
※小さいれものにたくさん入れるとけんかしてヒゲなどがちぎれてしまいますので、5～6ひきくらい入れます。
- ◎ コオロギに卵をうませるために土を深さ5～6センチほど入れます。  
※土は、川すながよいですが、ホームセンターでうっているスズムシの土でもいいです。
- ◎ 土を入れたら、かくれやすい場所をつくりまします。  
※うえきぼちの破片(こわれたもの)、うすいた、すきまの多い石など
- ◎ いれものが乾くとコオロギが死ぬので、7日に1度は霧ふきで土を湿らせます。



## えさ

ナス、サツマイモ、カボチャ、ニンジン、リンゴなど長持ちのする(くさりにくい)やさい、くだものをあげます。やさいだけでは共食いをするので、けずりぶし、にぼし、スズムシのえさ(ホームセンターで売っています)をあげます。

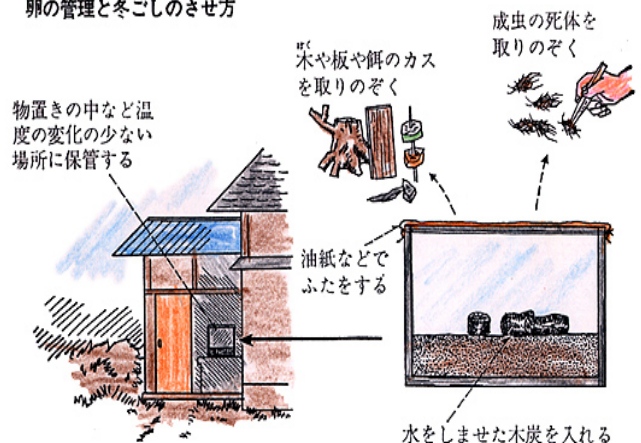


## たまごの産ませかた

- ◎ コオロギが全部死んだら、いれものの中のかくれる場所や、死体、食べのこりなどを全部とり除きます。
- ◎ いれものとふたの間にビニールをはさみます。  
※たまごがかわいてしまうことをふせぎます。
- ◎ いれものはそのまま風通しの良いところに保存します。  
※あたたかい家の中にはおきません。また、冬は何もすることはありません。

えさはかならずあげてね!

卵の管理と冬ごしのさせ方



## よう虫(赤ちゃん)のそだてかた

- ◎ よう虫は6月ごろ土の中から出てきます。そのため5月になったら、いれもののビニールをはずし、ときどき土をしめさせます。
- ◎ よう虫のえさは成虫(おとな)と同じです。